

後援会事業のご案内

千里金蘭大学後援会は、学生のより良い教育の提供と学生生活環境の整備を行いたいという保護者の皆さまからの声をもとに、保護者の皆さまと本学が相互一体となり、学生の修学支援及び課外活動助成、並びに教育施設及び福利厚生施設の充実を図るべく、平成27年4月1日に発足されました。これまでに多くの保護者の皆さまにご入会を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬお引き立てのほど、よろしく願っています。

◇平成30年度は、主に右記のような事業を予定しており、年1回開催される総会において事業内容を決定いたします。詳細につきましては、ホームページをご覧ください。
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

千里金蘭大学後援会担当窓口（千里金蘭大学内 事務局）

【会員(保護者)向けの事業】

- ・情報交換会(懇談会)の開催
- ・保護者向け就職セミナーの開催
- ・後援会通信(学報)の発行
- ・図書館の利用

【会員学生向けの事業】

- ・入会記念品の贈呈
- ・食堂利用補助券の発行
- ・各種講座、模擬試験受験料の一部補助
- ・英語力向上奨励金の授与
- ・各種課外活動(ゼミ旅行など)費用補助
- ・卒業記念品の贈呈

【全学生対象の事業】

- ・大学祭運営費への一部補助
- ・図書館書籍購入費の一部補助
- ・課外活動において成果を収めた学生への表彰
- ・公認サークル・団体活動への一部補助
- ・図書館へのウォーターサーバーの設置

学園へのご支援のお願い

学びの環境をより豊かにするために
 皆さまの温かいご理解をお願いいたします。

本学園が設置する本学および金蘭会高等学校・中学校、新たに平成30年4月に開園した金蘭会保育園の質の充実に向けて、在学生保護者、同窓生、教職員、一般有志及び団体の皆さまからのご支援・ご協力を賜りたく、ご寄付の募集(任意)に向けた準備をさせていただいております。寄付金額につきましては、1口につき1万円とさせていただきます、本学では、この寄付金を通じて、奨学金の充実や、

課外活動、施設・設備の充実など、学生の学びの環境の充実に活用することを予定しております。詳細が決まり次第、文書および大学ホームページなどで改めてお知らせさせていただきます。昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、何とぞご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

年間スケジュール(前期)

2018					
4月	3日(火)	平成30年度入学式	5月	26日(土)	後援会役員及び総会
	4日(水)	新入生オリエンテーション	6月	17日(日)	初夏のオープンキャンパス
	5日(木)	新入生オリエンテーション	7月	15日(日)	夏のオープンキャンパス
	6日(金)	新入生オリエンテーション		16日(月・祝)	祝日授業日
	9日(月)	前期授業開始		27日(金)	前期最終授業日
	22日(日)	ココロかんごフェア		29日(日)	夏のオープンキャンパス
5月	1日(火・祝)	振替休業日		30日(月)	授業予備期間(7/30~8/3)
	2日(木)	学園創立記念日 学園創立113周年を迎えます	8月	6日(月)	専門科目、保育、教職科目調整期間(8/6~8)
	6日(日)	初夏のオープンキャンパス		11日(土・祝)	夏のオープンキャンパス
			8月	13日(月)	夏季一斉休業(8/13~8/15)
				17日(金)	AO入試 I 期
				19日(日)	夏のオープンキャンパス
				24日(金)	前期成績発表予定日
			9月	17日(月・祝)	AO入試 II 期
				21日(金)	後期授業開始
				23日(日・祝)	秋のオープンキャンパス
				24日(月・祝)	祝日授業日
				30日(日)	保護者懇談会 ※日程変更の可能性がります

編集後記

本号よりレイアウトや内容を刷新し、ページ数も増やしました。その中で、「ゼミ探訪」という新企画の連載を始めました。ゼミ探訪では、教員がゼミで取り組んでいることやゼミ生へのインタビュー記事も掲載しています。学業面での学生生活の一端をご覧いただければと思います。秋に発行する次回の学報では、児童教育学科のゼミを掲載する予定です。今後も、在学生、保護者の皆さまを始め多くの方々に、本学の魅力を伝えるよう情報を発信して参ります。

私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ
後援会からのご挨拶
- 02 千里金蘭大学グランドデザイン
- 03 学科 MESSAGE
- 04 ゼミ探訪 vol.1
- 05-06 部局 MESSAGE
- 07 新任教員紹介
- 08 CLUB
- 09-10 NEWS
- 11 後援会事業のご案内
学園へのご支援のお願い
年間スケジュール

新学期を向かえ、
中期計画と
共に発展する大学へ



平成30年5月
千里金蘭大学 学長
島崎 靖久

新入生の皆さん、いよいよ大学生活が始まりました。多少の不安と共に新生活を迎えている事と思いますが、入学式での学長式辞を想い起こして、積極的に前に向かって進んでください。

千里金蘭大学の4・5・7号館の耐震補強工事が終了し、外壁も塗り替えられました。これで、大学の全ての建物の耐震補強が終了したことになります。5号館の耐震補強工事に合わせて、「金蘭おやこクラブ」と「子育てひろばOh! キッズ」に用いる1階のプレイルームを広く、明るく改修し、幼児用のトイレも設置しました。また、今年度から新しく二つの事業が始ります。一つは、小学生を対象とした土曜英語学校です。土曜日には9時から15時まで、300名を超す小学生が大学の教室、運動場を使って英語で過ごす生活をします。もう一つは、金蘭会高等学校の敷地内に金蘭会保育園が開園しました。児童教育学科の保育実習、研究のための新しい施設となります。

学園として、今年度から中期計画を策定し、3年後の大学をイメージした改革に取り組む事となりました。そのキャッチ・フレーズを「私の成長、きっとだれかのために。」としました。これを心の中にもって、成長して欲しいとの想いからです。「教育」、「成長」、「キャリア」、「こころ」、そして、「地域共生」が5つの柱となっています。中でも最も重要としている事は、「教育」の改革です。学園の建学の精神である「学んで、社会に出て人の役に立つ」が示す、より積極的に生きる女性、「自ら考え、学び、育つ」の自立した女性をめざした教育です。そのために、教育環境の改善を計画しています。生活科学部食物栄養学科、児童教育学科、看護学部看護学科がそれぞれ、新しいテーマを設け、取り組みを策定して教育の改善をめざします。国家試験成績だけでなくその他の資格試験の向上と良好な成績の維持をめざして、新しい取り組みを展開いたします。加えて、学生生活の向上のために、クラブ活動の活性化と共に、学生生活環境を改善します。

今年度、大学の専任教員は総教員数の25%が新しく赴任された教員となりました。教員が若返ったと同時に、活力のある教員が増え、教育のより新しい取り組みが期待できると思われまます。中期計画に活性化されて千里金蘭大学が新しく生まれ変わる予感がしています。新任の先生方だけでなく、これまで支えて来てくださっている先生方と共に、大学の新しい発展に大いなる期待を寄せています。

だけたこと、感謝申し上げます。
設立4年目を迎えた後援会では、会費を通じた支援はもちろん、私たち保護者自身が培った知見や情報、さまざまなリソースを通じて、広く学生に還元されるよう、ますます事業の充実を図りたいと考えております。保護者の皆さまには、後援会活動に是非ご賛同いただくとともに、積極的にご参加いただき、ともに千里金蘭大学づくりをめざしていただきたいと存じます。
これからも、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成30年4月1日
千里金蘭大学 後援会会長
満端 由之

<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>
本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

私の成長、きっとだれかのために。

「学び、社会のために尽くしたい」
千里金蘭大学では、改めて建学の精神に立ち返るとともに、人間力の向上及び倫理観の醸成を図り、問題解決能力を高めることで、社会に貢献し信頼される人材の養成に努めるべく、**タグラインを策定いたしました。**
学生の成長は、自身の夢を叶える方途にとどまらず、ともに学ぶ仲間と志を分かち合い、将来、個性と能力を発揮できる専門的職業人として、人を支えるということを表したものです。
つまり、自分の「成長」が、そのまま「だれかのために」になる。このタグラインを実現する大学として、千里金蘭大学は、さまざまな取組みを推進していきます。

建学の精神

明治38(1905)年、当時の大阪府堂島高等女学校(現・大阪府立大手前高等学校)の同窓会である「金蘭会」が「金蘭会女学校」を設立するに至った。「学び、そして、社会のために尽くさねば」という気概をその淵源としています。

「金蘭」の由来

「二人同心其利断金 同心之言其與如蘭」(易経繫辞伝より) 志を同じくするものが一致協力すれば、何事でも成し遂げることができ、同じ心をもっている者、すなわち同志の言葉は、蘭の芳しいかがりがある。

教育目標

自ら考え自ら学ぶ姿勢を身につけることで、他者への共感・他者との協調・他者への奉仕を実践し、持続可能な社会の構築に貢献できる、すなわち自らを育て自立することのできる女性の育成を目標としています。



自ら考え、自ら学び、自ら育つ

<p>生活科学部 食物栄養学科</p> <p>高度な専門知識と人間力を身につけた「食」「栄養」「健康」のスペシャリストの育成を通じ、地域とともに、共存・発展をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> Action Plan 1 常時教員と相談できる独自の「ぴあ ROOM」を設置 Action Plan 2 理系科目の不安も解消、国家試験合格率100%をめざす Action Plan 3 資格を生かした多彩な分野での就職をサポート Action Plan 4 「食」と「栄養」のプロデューサーとして地域に貢献 	<p>生活科学部 児童教育学科</p> <p>豊かな人間性と高い専門性を備え、子どもの成長・発達を支援し、社会に貢献する意欲ある保育者・教育者を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Action Plan 1 1年次から子どもと触れ合い専門性を磨く Action Plan 2 少人数教育を徹底。ピアノは初級者から実践レベルへ Action Plan 3 3資格・免許の取得と公務員採用試験への個別支援を徹底 Action Plan 4 地域とつながり、ロンドンの幼稚園等で視野を広げる 	<p>看護学部 看護学科</p> <p>豊かな人間性と倫理観及び専門知識と技能を基盤とした看護実践ができる看護職者を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Action Plan 1 「リアル看護」の体制強化で、地域No.1の実践教育 Action Plan 2 「ココロ」に寄り添うための「Sense and Art」を磨く Action Plan 3 3つの国家試験で合格率100%をめざす Action Plan 4 実習先は地域医療の中核病院で、就職にもリンク
--	--	--

教養教育センター
幅広い教養とともに、人間性や倫理観を養い、主体的な学びや幅広く応用が可能な能力を高めることで、自らのライフ・キャリアを構想できる女性を育成します。また、学科の枠を超えて履修できる科目の開設等を通じて、専門職に対し複眼的な洞察力をもった女性の育成をめざします。

食物栄養学科

自己研鑽の大学生活
～次なる飛躍のために～

食物栄養学科長
石川 秀明

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さん、新たな気持ちで新学期を迎えていることと思います。保護者の皆さま、後援会および各種大学行事を通じての多大なご支援・ご協力に感謝いたします。大学は、論理的な思考力を修得し、寛容で豊かな人間性を形成していくことができる学びの場です。ラッセルは自著「幸福論」の中で人々を不幸にする原因はネガティブな自己没頭であると断罪し、外界への興味を増進していくことを強く勧めています。大学で友人や先生の意見に耳を傾け、自分の知らない新しい世界・考え方に触れることは、皆さんをきっと大きく成長させることでしょう。女性の社会への参画が求められているなか、食物栄養学科では自分の夢を懸命に実現しようとする学生を全力で支援します。生活習慣病が増加する高齢化社会の日本では、健康長寿のための正しい食と栄養の知識をもった管理栄養士の役割が一層重要となっています。志を高くもって、大きく成長していくことを期待しています。



児童教育学科

未来を担う子どもたちと
共に歩む道

児童教育学科長
早田 由美子

新入生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。これからの4年間で皆さんにとって幸せに満ちた、実り多き日々となることを願っています。子どもは人生で最大の吸収力を持ち、この時の体験はその人に深く刻み込まれます。この子どもたちに少しでも良い影響を与えられるように努力を惜みず勉強に励んでほしいと思います。求められるものは、知識・技能の他、探究力、思考力、判断力、表現力、多角的な視野etc…。さまざまな力が少しずつ培えるよう、金蘭おやこクラブ、子どもインターンシップ、保育実習・教育実習など体験的な学びもたくさん用意されています。大きく花開く大学時代の4年間、さまざまな学びを通して着実に成長し、無事に社会に羽ばたいて行かれるようわれわれ教職員は心をこめて支援します。未来を担う子どもたちに少しでも良い世界を確保するために私たちができることを考えながら、各自の夢を追求していきましょう。



看護学科

専門家として女性としての
しなやかさと凛とした強さを研いで

看護学科長
兔澤 恵子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまには心からお祝い申し上げます。看護学科では、憧れの看護からより実践的で科学的な看護の感覚を身につけて頂くために、体験を重視したリアルな学習方法を導入し、対象となられる方々のところに寄り添うことのできるセンスと専門的なスキルの基礎力を確かなものに研くことをめざした学習環境を整えています。今日やろうと思ったことは明日に延ばすことなく、自分の将来のために積極的に日々の学習に臨み看護師、保健師、助産師いずれの自ら描いた夢も実現されることを教職員一同心から願っています。また、今年度から学年間交流クラス担任制を導入しています。1年生から4年生までが混合クラスとなり2人の教員で担当します。先輩たちも皆さんの入学を心待ちにしていました。楽しく共に学びあう場がここにはあります。看護に欠かせないコミュニケーション力や発見力、論理的思考力、判断力、実践力などを身につけ、専門家としてまた女性としてのしなやかさと凛とした強さを兼ね備えた素晴らしい女性になられるように支援してまいります。このキャンパスを最大限に活用し将来への基礎固めをしっかり行っていただきたいと思っています。



ゼミ
探訪
vol.1

第1回の今回は、食物栄養学科で食品加工学ゼミをされている兒玉ゼミを訪問しました。兒玉先生とゼミ生にゼミでの活動や学びについて訊きました。



食物栄養学科
兒玉 成一教授

食品加工学ゼミ

グループ研究を通して、積極性を学び、
理系の考え方やチームワークを身につける。

食品加工の研究を通して、食品成分やその性質についての理解を深めることを目的として、グループでの研究をしています。私の気持ちとしては、チームでの研究実施を通して、社会に出てからも役立つチームワークや、実行力、観察力、思考力を身につけてもらいたいと思っています。

私は、大学を卒業後、薬品会社の食品研究所に就職し、食品素材や食品添加物の開発研究に30年近く携わってきました。なかでも、酒造薬品の開発研究が、企業での研究活動の最後の部分を占めていました。50歳を機に、本学で教育、研究を行うこととなり、食品化学、食品加工の分野を担当しています。企業で働いていた経験から、学生には研究テーマの実施を通して、知識だけではなく得られた結果から何が考えられるかという、理系の考え方や、仕事をしていく上で大切なチームワークを身につけてもらいたいと考えています。

ゼミでの研究テーマは、食品加工分野で、天然酵母を利用したパンの調製や、チーズやアイスクリームなど乳製品関連、清酒やワインなどのアルコール飲料の調製に関する研究などが主となっています。特に最近では、企業時代の最後のテーマであった、お酒に関する研究に学生が興味を持ち、毎年取り上げております。酒類の調製につい

ては、量の多少に関わらず勝手に作ることは認められず、酒税法違反となります。お酒といってもいろいろあって、どんなお酒でも造れるわけではなく、果実酒、焼酎、ブランデー、清酒の試験製造の許可をもらっています。女子大でお酒の製造なんて、なかなか出来ないと思いますよ。

ゼミ生の人数は、年によってちがいますが、平均すると8人くらいでしょうか。ゼミでは、管理栄養士の国家資格獲得のための勉強部屋として、ゼミ生専用の研究室が教授室の隣に設置されています。勉強に疲れたら、私が淹れるコーヒーでブレイクもしばしば。

国試対策の勉強や研究活動はもちろんですが、ゼミ生は皆、食品加工分野に興味を持っている学生たちです。その知識技術を發揮して、大学祭では、もう10年以上も「焼きたてアンパン(別名:コダマパン)」の販売を続けています。もう大人気で、焼きあがった商品が店頭で並ぶことが無く、いつも売り切れ状態です。入手困難、焼き上がりの時刻には、長蛇の列ができる店なのです。当然、大学祭での収入で打ち上げコンパをやることになります。今年は、豪華にピフテキでした。

ゼミ生には、ゼミで学んだ積極性を生かして、周りの人としっかりコミュニケーションのとれる社会人になってもらいたいと思っています。

ゼミ生メッセージ

食べることが好きなことがきっかけとなり、栄養バランスの良い食事を考えられるようになりたいと思い、食物栄養学科に進学しました。そして、食を通じて人を笑顔にしたいという思いから管理栄養士を目指しています。兒玉ゼミを選んだきっかけは、お酒の製造には免許が必要で、今後なかなか経験できない貴重な体験をできるのではないと思ったからです。また、何かを作ることが好きなことも、兒玉ゼミを選んだ理由の一つです。将来は、お客様に満足していただける工夫ができる管理栄養士を目指しています。毎日の食事を楽しみに感じていただくためにも、美味しいことと栄養バランスが良いことを両立する献立や、見た目にも楽しめる盛り付けの工夫などを考えられるようになりたいと考えています。

食物栄養学科を選択したきっかけは、どのような食材にどんな栄養素が入っているかやその栄養素が体にとってどのように良いのかなどが気になっていたため、栄養学を学びたいと思ったからです。私は、1年生の時の実験で兒玉先生の授業を受けました。その授業の内容が楽しく、加工食品に使用される微生物の取り扱いについて、より深く学びたいと思いました。また、兒玉先生のお話がおもしろかったので、先生の人柄も含め、兒玉ゼミを選択しました。将来は、ゼミや授業で食品の機能性や健康における食事の重要性を学んだ経験を生かして、健康志向の風潮に合った加工食品を開発してみたいと思っています。

4年生 花本 彩乃さん

4年生 寶野 奈津美さん



教養教育センター

社会貢献のトレーニング

教養教育センター長
寺口 瑞生

本学の教養教育は、「初年次教育」に力を入れています。一つには、4年間の学びの基礎となる「スタディスキル」を身につけて専門科目の学びに接続します。もう一つは、早い段階から社会の役に立つ存在となることを意識することで、「社会貢献論」を必修科目としています。この科目では、外部のゲストスピーカーをお招きして、地域貢献・国際貢献等の具体的な事例を、ワークショップ形式で学修します。このような学びを通して、ボランティア・マインドを育て、日常的な社会貢献を実践してくれればと願っています。



認知症サポーター養成講座(看護学科)の様子

付属図書館

ラーニングコモンズ「e-黒板」

付属図書館長
寺口 瑞生

図書館には「ラーニングコモンズ」が2カ所あります。「ラーニングコモンズ」を気軽に利用してもらえ遊び感覚の機能のご紹介です。電子黒板ソフト「e-黒板」です。ホワイトボードを電子黒板にできるソフトです。このソフトを使えば、壁面ホワイトボードに専用の電子ペンを使って書き込んだり、プログラムに入っている電子教材を使うこともできます。この「e-黒板」を使った授業も昨年実施されました。写真を見てください。楽しそうでしょ！教育実習前の模擬授業やプレゼンテーションの練習など、ぜひ図書館へ足を運んでみてください。



e-黒板を使用している様子

地域共創センター

大切なこと、それは学生と地域がともに成長することです

地域共創センター長
岩谷 智

地域は単に地元という意味ではありません。私たちは「地域」を学生が成長する豊かな土壌として捉え、地域と大学の結節点としての活動を行っています。学生時代の地域イベント、ボランティア、国際交流活動などへの参加は生涯にわたって皆さんの宝ものになり、生き方のヒントにもなるはず。そして、もうひとつ大切なのは学生だけでなく地域もともに成長していくことです。少子高齢社会にあって大学・学生の果たす役割はますます大きくなり、地域に根ざした教育・研究が求められています。さあ一緒に一歩を踏み出しましょう。



大学コンソーシアム大阪「地域連携学生フォーラムin大阪2017」の様子

情報処理教育センター

パソコンがとても充実しています是非ご利用ください

情報処理教育センター長
小野 淳

情報処理教育センターは、大学内のコンピューターや情報システムの管理・運営を行っています。職員2名と上級生のお手伝いと少ない人数ですが、学生の学習と教職員の教育研究活動をサポートできるよう努めていますので、よろしくお願いたします。学生のみなさんが使えるコンピューターは学内に200台以上あり、授業で利用していない時間であれば自由にご利用ください。また、コンピューターのことで困ったことがあれば、3号館3階の情報処理教育センターまでご相談いただければと思います。



情報処理教育センターの様子

教職支援センター

学生の努力に応える支援体制の充実に向けて

教職支援センター長
黒瀬 哲也

今年度、教職支援センターでは、公立小学校教員や公立幼稚園、保育園など公務員試験を目指す学生をサポートする取り組みをさらに充実していきます。学生たちの夢を実現するため、面接や模擬授業、実技指導に加えて筆記試験対策を大幅に見直すなど、指導體制のより一層の向上を図っています。3月には春期対策講座、4月からは「エクステンション講座(毎週月、火曜日午後)」などがスタートし、5月からは既卒者対象の講座も実施します。学生たちの努力に応え、難関の試験に挑む自信をつけたいと考えています。



春期対策講座の様子

アドミッションセンター

インターネット出願やイベントなど学生募集に向けて、さまざまな試みにチャレンジしています

2019年度の学生募集に向けて、オープンキャンパスを4月から9月まで毎月実施します。高校生や保護者の方を迎え、学科の特色を知ってもらい授業体験プログラムや、学生スタッフとランチを楽しむ「おしゃべりランチ会」など、さまざまなイベントを通じて、本学の魅力を伝えていきます。また、今年度の公募制推薦入試や一般入試において、新たにインターネット出願を導入します。学生募集要項の寄せが不要となり、コンビニで検定料を払込みができるようになります。受験生の利便性が高まり、出願しやすい環境となります。



オープンキャンパス学生スタッフ

キャリアセンター

平成29年度の就職活動状況およびキャリアセンターの取り組みについて

平成29年度の就職率は食物栄養学科97.1%、児童教育学科100%、看護学科98.9%でした。食物栄養学科では国家試験の時期が早まり、病院からの管理栄養士の求人数が増えると期待されましたが、求人数は横ばいであり、以前と同様狭き門となっています。一方、求人数が増えている薬局・ドラッグストアへの就職は増加傾向となっています。児童教育学科では講師登録などを含め30%の学生が公務員として就職しました。公務員試験対策講座や教職支援センターの指導による成果が出た結果となりました。看護学科は他大学の看護学部増設により年々看護師の就職が厳しくなる状況の中、多くの学生が志望する病院へ就職できました。キャリアセンターでは、就職活動への準備としてさまざまなセミナーなどを実施しており、個別での模擬面接や応募書類の添削なども対応しています。今年度よりキャリアカウンセラーの就職相談も開始しました。求める人物像などを調査した12月実施の内定先アンケートは、自由に閲覧できますので興味のある方はご覧ください。

平成30年3月卒業生就職状況(5月1日現在)

食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
97.1%	100%	98.9%

平成30年度前期実施セミナー

月	対象者	実施内容
4月	保幼就職希望者(4年生)	保幼希望者対象の就職セミナー
	食物栄養学科1年生	大学生生活「初めの一歩」講座
	公務員試験希望者	公務員試験対策ガイダンス
	希望者	インターンシップ説明会
5月~7月	生活科学部3年生	インターンシップ対策セミナー
5月~6月	公務員試験希望者	公務員試験対策講座(直前期編)
6月	食物栄養学科3年生	担当者による業界研究セミナー
6月~7月	希望者	文章基礎力向上講座①
9月	生活科学部3年生	SPI対策講座



模擬企業説明会の様子

新任教員紹介

- ① 学位 ② 研究テーマ(専門分野) ③ 千里金蘭大学での主な担当科目
④ 千里金蘭大学での抱負

食物栄養学科



長井 薫教授

①医学博士 ②食品成分による脳の疾患予防 ③基礎栄養学 ④少しでも何らかの足跡が残せるように頑張ります。



巽 美奈子講師

①文学修士 ②食育・栄養教育/食と栄養の歴史社会学 ③栄養教育論 ④あらゆる食の場面に飛び込んでいきましょう!



吉永 省三教授

①人間科学博士 ②教育学、子どもの権利論 ③教育原理 ④学生の皆さんと共に「教育」や「子ども」についての学びを。



朴 貴英助手

①栄養学士 ③給食経営計画論実習 ④卒業生なので在学中に感じた本学の良さを学生さん達に伝え、励んで参ります!



藤田 有紀助手

①栄養学修士 ②抗アレルギー作用を有する機能性成分の探索 ③病理学実験 ④学生のサポートに励みます。

児童教育学科



堀内 孜教授

①教育学修士 ②公教育経営学 ③教師論 ④知識、言語、態度の面において、「常識」ある社会人の育成に務めたい。



本宮 裕示郎助教

①教育学修士 ②教育方法学 ③教育課程論 ④教育・研究両面で、一日でも早く活躍できるように精進いたします。



細 恵子准教授

①教育学博士 ②国語科教育・読書教育 ③国語科教育法 ④言葉を大切に思考力や表現力を育てていきましょう!



伊原木 幸馬助教

①教育学修士 ②音楽教育・幼児音楽・声楽 ③音楽表現I ④歌やピアノを通して音楽する心を一緒に育てていきましょう!

看護学科



白木 公康教授

①医学博士 ②臨床ウイルス学 ③病原微生物学演習 ④人との出会いを大切にしたい大学生活にしましょう。



中尾 友美教授

①看護学修士 ②糖尿病患者への看護 ③成人看護援助論演習II ④看護の面白さをお伝えしたいと思います。



生駒 妙香講師

①看護学修士 ②子育て支援・子ども虐待予防 ③母性看護対象論 ④母性看護学・助産学と一緒に楽しく学びましょう。



石田 美佳子助教

①臨床教育学修士 ②母性看護学・助産学 ③母性看護援助論演習 ④母性看護を通して命の尊さを一緒に学びましょう!



杉江 美子教授

①公衆衛生学修士 ②公衆衛生看護学 ③公衆衛生看護学概論 ④歌って踊れる保健師育成、きっと地域のために!



藤田 俱子教授

①看護学博士 ②高齢者の体組成と身体機能 ③在宅看護論 ④入院時から退院後の生活を想定できる看護の教育。



石井 あゆみ助教

①学術修士 ②自己教育力、高大連携 ③成人看護学 ④学生生活が充実したものとなるようサポートしていきたい。



岡田 由美子助教

①看護学修士 ②公衆衛生看護 ③公衆衛生看護活動論演習II ④楽しく、楽しく、楽しく、がんばりましょう!



田中 恵子教授

①教育学修士 ②乳児期の子育て支援 ③助産学概論 ④産婦とその家族に寄り添える助産師を育てていきたいと思っています。



清水 昌美准教授

①看護学修士 ②高齢者ケアにおける倫理 ③老年看護援助論演習 ④思いやりと謙虚さを大切にしたいです。



石崎 美保助教

①公衆衛生学修士 ②医療介入と地域で暮らす患者のQOL ③産業保健 ④よく学び、ともに感動しましょう!



金村 美和助教

①看護学修士 ②健康予防行動 ③成人看護学援助論 ④看護の道を選んでよかったと思えるよう、支援します。

CLUB

バレーボール部

新入生8人を迎え、30人で活動しています。昨年は全日本インカレベスト16という結果に終わりました。30人全員で「応援されるチーム」をモットーに元気に頑張ります。応援よろしくお祈りします!



卓球部

昨年から新たにスタートし、現在4回生1人、2回生3人、1回生3人の計7人で活動しています。昨年度の秋季リーグで3部に昇格することができました。今年の春季リーグでは2部昇格を目標に日々一生懸命練習しています。



サッカー同好会

現在8人で活動しています。月1回他大学と合同練習も行っています。全員初心者なので基礎練習を中心に楽しく練習しています。フットサル大会など人数が少なくても出られる試合を目標に頑張っています。



ソフトテニス部

現在13人で活動しています。関西、全国で結果を残せるよう日々練習をしています。練習では、しんどい事もありますが、チームのみんなで楽しく頑張っています。一致団結し、これからも頑張っていきます。



箏曲部

部員は6人と外部からお越しにいたっている先生の合計7人で活動しています。週2回18時から、昔ながらの曲から現代の曲までとにかく楽しい曲を選定して弾いています。今はオープンキャンパスに向けて練習中です。



軽音楽部

軽音楽部は主に年に数回のライブ活動を行い、活動を通して協調性及び社会性を学ぶことを目標とし、日々練習に励んでいます。ライブや他大学との交流など、楽しみながら活動しています! 応援よろしくお祈りします。



Cooking Club

現在、26人で活動しています。昨年の大学祭では、何度も試作を重ね作り上げたレモンスクエアを販売し、大好評でした。今年も七夕祭・大学祭などで、毎回好評のCooking Club特製のお菓子を配布予定です。お楽しみに!



金蘭フィルハーモニー

私たち金蘭フィルハーモニーは現在、3回生3人、2回生4人、1回生1人の計8人で活動しています。主に大学祭や七夕コンサートなどの学内のイベントに参加しており、いい演奏を聴いていただけるように練習に励んでいます!



大学祭実行委員会

現在、新2回生19人で活動しています。主な活動は大学祭などの企画運営です。今年度の大学祭は、10月27日(土)・28日(日)を予定しています! 今年も楽しい行事を考えているので、ぜひ参加してください。



茶道部

4回生卒業により、今年度から3回生2人、1回生1人で活動しています。昨年度は、七夕祭でのお茶出しや夏期の静岡旅行、春期の他流派の茶会見学などを行いました。今年度は、さまざまな祭日でのお茶出しなど活動をしていきます。



平成29年度学位授与式

3月15日(木)に、佐藤記念講堂において平成29年度学位授与式が執り行われました。始めに、食物栄養学科75名、児童教育学科47名、看護学科95名、計217名の卒業生を代表して各学科の総代が登壇し、鳥崎学長から学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」、および関係団体各賞・記念品の授与が以下のとおり行われました。鳥崎学長からの式辞に続いて、芳友会・松下会長、後援会・溝端会長から祝辞をいただき、最後は門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。会場が拍手で包まれる中、晴れやかな姿の卒業生が退場し、平成29年度学位授与式は無事終了いたしました。卒業生の皆さま、この度はご卒業おめでとうございます。皆さまの今後のご活躍を、本学教職員一同祈念いたしております。



	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商業員賞	白井 瑞希 さん	田中 陽菜 さん	今井 詩萌 さん
佐藤賞	栗山 彩佳 さん	児玉 亜純 さん	宮原 七佳 さん
関係団体各賞授与	宮原 明日香 さん (全国栄養士養成施設協会)	土谷 奈々 さん (全国保育士養成協議会会長賞)	細江 真奈美 さん (日本私立看護系大学協会)
	森川 里紗 さん (日本フードスペシャリスト協会)		濱 静夏 さん (大阪府看護協会会長賞)
門出の誓い	西村 英子 さん	藤野 愛海 さん	細江 真奈美 さん

平成30年度入学式

平成30年度入学式が4月3日(火)に佐藤記念講堂で執り行われました。食物栄養学科82名、児童教育学科57名、看護学科102名、計241名の新入生が、千里金蘭大学学生としての第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、食物栄養学科・古武花菜さん、児童教育学科・奥松風花さん、看護学科・西原実玖さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて学長入学許可宣言、学長式辞があり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。また、芳友会・松下喜代子会長並びに後援会・溝端由之会長より、励ましの祝辞をいただきました。天候に恵まれ、桜も満開を迎える中、キャンパス内では新入生やそのご家族の晴れやかな笑顔であふれました。千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうございます。



耐震補強工事完了報告

昨年7月から行ってきた耐震補強工事が完了。
安心して学べる環境が整いました。

平成29年7月より実施してまいりました4号館・5号館・7号館の耐震補強工事が、平成30年3月ようやく完了いたしました。学生の皆さまには、工事へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。また、これらの校舎は、築年数が相当年数を経過していたため、今回の工事に併せて、屋上防水工事、外壁塗装工事などを実施しました。さらに、5号館1階では、「子ども支援協働研究室(プレイルーム)」の大幅なリニューアル工事を行いました。「子ども支援協働研究室(プレイルーム)」では、地域に開かれた子育て支援スペースとして「金蘭おやこクラブ」などを開設していますが、幼児用トイレを設置するとともに、スペース拡充を図りました。学生の皆さま、さらには地域の皆さまが、安全に、そしてますます快適に過ごしていただけるよう、引き続きキャンパス整備を進めてまいります。



保育園新設

金蘭会保育園を開設しました。
ますます幅広い教育の場を
提供していきます。

社会の変化により仕事と子育てを両立させた男女共同参画社会の実現が求められている中、金蘭会学園としてもその要請に応えるべく、平成30年4月 大阪市北区の金蘭会高等学校・中学校の敷地内に併設して、金蘭会保育園を開園いたしました。定員90名に対し、開園初年度は58名の園児を迎えるスタートとなりました。本学の児童教育学科に加え、高等学校でも保育児童コースを有していることから、これまでの子育て支援事業や地域との交流経験を生かし、地域の子育て支援の充実に力を入れていきます。また、長年の教育研究活動の経験による専門的知見を生かし、保育園との実践交流を積極的に行う予定です。保育実習、インターンシップ、保育ボランティアなどを行い、学生達の子ども理解が深まるよう努めて参ります。

<https://www.kinran-hoiku.jp/>
<https://www.instagram.com/kinrankai/>

金蘭会保育園のホームページのほか、Instagramを通じて保育園の日々の様子を更新していきますので、ぜひご覧ください！



スペシャルプログラム開設

児童向け英語学校
「スペシャルプログラム」が、
いよいよ始動。
オリジナリティ豊かな英語の
授業が盛りだくさん。

1年間の準備を経て、いよいよ4月21日に児童向け英語学校が約330名の児童を集め、「スペシャルプログラム」として本学内で開校いたしました。学年と英語のレベルに応じて20クラスを編成し、約40名の外国人講師と留学生や帰国子女で編成した約60人の学生スタッフが連携し、終日英語だけの環境で、英語、音楽、図書、体育、ITの授業を土曜学校30間、夏季講習(JFK)10日間を行います。利用教室は3号館(本館)3Fから6Fの教室、2号館の一部、体育館、グラウンドなどで、事務局を3号館6Fに設置しました。ディレクターはじめ、運営スタッフ5名が勤務を開始しています。なお、開講日が土曜日や夏季休業期間内であり、学生のみ皆さんの修学環境にご迷惑をおかけすることはありません。このスペシャルプログラムの運営を通じて、本学のブランド価値向上や、英語教育のノウハウの児童教育学科へ波及、本学既存施設の休日稼働率向上による収益の向上などを期待しています。

<http://ss.special-programs.net/>

ホームページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

